

令和5年度の重点目標

スローガン：「絆を大切にし、確かな学力を身につけさせる学校」

キャッチフレーズ：「絆づくりは明るく元気で大きな ワンストップ 挨拶から」

令和5年度の「キーワード」→「当事者意識」と「主体性」

(1) 相手の置かれている状況や立場を自分のことと捉え、何をすべきか自ら考え行動する力の育成

①自ら、「明るく元気で大きなワンストップ挨拶」ができる生徒の育成（絆づくりの構築）

②自ら、「いじめを絶対にしない、させない、許さない」行動や発言ができる生徒の育成

（信頼関係の構築）

(2) 自らの夢や希望を実現するための元になる力（夢元の力）の育成

③自ら、「学習規律」を徹底し、学びあう生徒の育成（学習習慣の定着）

④自ら、「家庭学習」に取り組む生徒の育成（家庭学習の習慣化）

学校教育の果たすべき使命は、「学力向上」と、「人間性・社会性の涵養」に集約される。

これらの二つの視点をしっかりと踏まえつつ、今年度は、「絆を大切にし、確かな学力を身につけさせる学校づくり」を学校経営の重点目標（スローガン）として掲げ、学校づくりに邁進したい。

(1) 生徒への思い

【心豊かで 礼儀正しい生徒】

①「絆を大切にしていって明るく温かな学校」にしよう。

生徒一人ひとりが、仲間を思いやり、仲間の痛みを感じ、仲間を励まし、仲間と共に向上していこうとする生徒に成長してほしい。そのためには、「いじめを絶対にしない、させない、許さない。」という強い心を育てなければならない。生徒一人ひとりが自分自身を何よりも大切にすると同時に、家族や友だちのことを大切に思い、「いじめ」がない安全安心な学校でなければならない。生徒・先生・保護者・地域の方々とながら、「絆を大切にし、明るく温かな学校」を創っていきましょう。

②「明るく元気で大きな挨拶」をしよう。

挨拶は、何のためにするのでしょうか。挨拶は、「おはよう」「こんにちは」「こんばんは」の短い言葉で表現した言葉のキャッチボール。相手に対する壁をつくらないための心と心のキャッチボールだと思います。自分の心を開いて人と向き合うための一言であり、人間関係を築く第一歩となります。「明るく 元気で 大きな ワンストップ 挨拶」をみんなで実践していきましょう。そして、「大浦中学校の挨拶は、長崎市NO1」と言われるような学校にしましょう。

「挨拶」を切り口にして、「大浦中学校の生徒は、みんないい子だね」と、誰からも褒められる生徒になろう。

【より求めて学び 創造する生徒】

③「学ぶ力」を高め、「確かな学力」を身につけてほしい。

自らの夢や憧れ、志に向かって自分の将来を切り拓くための学びをしよう。予測のつかない変化の激しい世の中を生き抜いていくために必要な問題解決能力、そして協働して取り組むための人としての生き方、関わり方を学びましょう。

(2) 教職員への思い

【豊かな人間性をもち、生徒の個々を生かす職員】

①「何事にも情熱を傾ける教職員」（感動のある学校）

ア) 「師弟同行」・「率先垂範」で学習や行事、そして部活動に情熱を傾け、達成できた喜びに、生徒と共に涙できる教職員。

【向上心があり、研鑽を積み、実践する職員】

②「生徒を中心（真ん中）に据え、切磋琢磨して生徒のために尽くす教職員」（力のある学校）

ア) 教師が、生徒一人ひとりのもつ可能性を見だし、それを最大限に引き出していこうと努力を惜しまない教師集団

イ) 自己研鑽に励み、生徒に寄り添い、愛情豊かに接し、時には「ダメものはダメ」と毅然とした態度で臨み、どんな時でも、生徒たちに真正面から向き合う教職員

ウ) 生徒に対する深い愛情と教育に対する情熱や使命感、高い倫理観、そしてプロとしての指導力を兼ね備えた教師となるための営みを続けていく教職員

③「夢や志を語る教職員」（夢のある学校）

ア) 生徒一人ひとりが、自分の将来に対する夢や志を抱き、その実現のために努力するとともに教職員も生徒の夢の実現に向けて支援し、学校教育への理想を互いに語り合い、追求する教職員

④「楽しい職員室、働きやすい職場づくりを目指す教職員」（働きがいのある職員室）

ア) 私たち教職員は、この一年間、苦楽を共にする仲間である。互いに尊敬し合い、磨き合い、支え合いながら、信頼の絆に結ばれた「楽しい職員室、働きやすい職場づくり」を目指し、力を携えながら前進していく教職員

【心身ともに健康で家庭や地域に信頼される職員】

⑤「生徒・保護者・地域とのつながりを大切に作る教職員」（絆のある学校）

ア) 生徒・保護者・地域から信頼されるとともに、教職員間の信頼関係に結ばれた学校

イ) 学校が、生徒・保護者・地域からの信頼を構築するために、不祥事を起こさない、起こさせないという強い意志をもち、不祥事の根絶を自らの問題として捉え、行動していく職員集団

⑥「地域を大切に作る教職員」（郷土愛・母校愛を育てる学校）

ア) 大浦中学校の生徒が、「絆」・「つながり」を何よりも大切にしながら、郷土愛、母校愛を胸に抱く、「大浦中学校生徒としての自信と誇りに満ちた生徒の育成」に取り組む教職員

イ) 「地域と共にある学校」を目指すため、学校、保護者および地域が連携を密にし、学校行事やPTA主催行事、地域行事等で協力し合える関係を構築しなければならない。そのために、私たち教職員も、地域の行事等に積極的に参加・協力しよう。

⑦「働き方改革を推進する教職員」（働きやすい学校）

ア) 定時退校日の設定、部活動休養日の設定

イ) 年1回の通知表所見（特別な教科道徳 総合的な学習の時間）

ウ) 行事の精選 校務分掌の見直し 学級経営案の廃止 会議時間の見直し

エ) プラス1運動、職員の超過勤務時間の減少、職員の意識改革

大浦中学校の実態・課題

1 生徒の実態

- | | |
|---------------------------|--------------|
| (1) 不登校の生徒が多い | (R4 年度不登校調査) |
| (2) 挨拶の声が小さい 地域でのあいさつが少ない | (学校関係者評価) |
| (3) 学力が低い | (学力調査の結果) |
| (4) 規範意識が高くなってきている | (学校評価) |
| (5) 特別に支援が必要な生徒が多い | |

2 学校評価の結果

(1) 生徒の挨拶

R4年度：生徒 (94%)	保護者 (95%)	職員 (93%)
R3年度：生徒 (92%)	保護者 (86%)	職員 (92%)
R2年度：生徒 (74%)	保護者 (75%)	職員 (100%)
R元年度：生徒 (77%)	保護者 (66%)	職員 (30%)

(2) いじめ防止対策

R4年度：生徒 (98%)	保護者 (85%)	職員 (100%)
R3年度：生徒 (96%)	保護者 (89%)	職員 (100%)
R2年度：生徒 (87%)	保護者 (94%)	職員 (100%)
R元年度：生徒 (84%)	保護者 (89%)	職員 (100%)

(3) ルールやマナー

R4年度：生徒 (95%)	保護者 (96%)	職員 (100%)
R3年度：生徒 (96%)	保護者 (84%)	職員 (100%)
R2年度：生徒 (85%)	保護者 (90%)	職員 (85%)
R元年度：生徒 (87%)	保護者 (76%)	職員 (30%)

(4) わかりやすい授業

R4年度：生徒 (97%)	保護者 (81%)	職員 (93%)
R3年度：生徒 (93%)	保護者 (89%)	職員 (92%)
R2年度：生徒 (87%)	保護者 (96%)	職員 (92%)
R元年度：生徒 (68%)	保護者 (85%)	職員 (90%)

(5) 明るく楽しい雰囲気

R4年度：生徒 (97%)	保護者 (88%)	職員 (100%)
R3年度：生徒 (96%)	保護者 (81%)	職員 (100%)
R2年度：生徒 (88%)	保護者 (79%)	職員 (92%)
R元年度：生徒 (93%)	保護者 (83%)	職員 (70%)

(6) 家庭学習の習慣

R4年度：生徒（86%） 保護者（62%） 職員（80%）

R3年度：生徒（73%） 保護者（56%） 職員（67%）

R2年度：生徒（68%） 保護者（63%） 職員（50%）

R元年度：生徒（81%） 保護者（58%） 職員（10%）

(7) 基本的な生活習慣

R4年度：生徒（85%） 保護者（64%） 職員（60%）

R3年度：生徒（78%） 保護者（75%） 職員（75%）

R2年度：生徒（66%） 保護者（72%） 職員（69%）

R元年度：生徒（84%） 保護者（62%） 職員（40%）

3 当事者意識の向上のために

(1) 当事者意識を持っている生徒の姿

- ①相手の立場に立って考え、行動することができる生徒
- ②相手の痛みを共有することができる生徒
- ③感謝の心を持っている生徒
- ④思いやりの心を持っている生徒
- ⑤「いじめをしない、させない、許さない」を実践できる生徒
- ⑥命の大切さを理解し、重んじる心を持っている生徒

(2) 手立て

- ①「明るく元気で、大きなワンストップ挨拶」ができる生徒の育成（絆づくりの構築）
- ②「いじめを絶対にしない させない 許さない」行動や発言ができる生徒の育成
(信頼関係の構築)
- ③「ルール・マナーを徹底することで、規範意識の向上を図る。
- ④学習規律を徹底できる生徒の育成 (周りの人への配慮)
- ⑤対話を重視した協働的な学びの推進 (ともに高めあう)
- ⑥自己肯定感を高める
 - ・行事等の機会を捉え、生徒に成功体験を実感させる。
 - ・生徒一人ひとりに役割を持たせ、実践させ、達成感・成就感を味わわせる。
 - ・生徒が主体的に活動できるよう、きめ細やかな指導、支援を行う
 - ・機会を見つけて、賞賛と激励を与える。

4 主体性の向上のために

(1) 主体性を持っている生徒の姿

- ①何をすべきか自ら考え、行動することができる生徒
- ②問題解決能力を身に付ける生徒

(2) 手立て

①自己肯定感を高める

- ・行事等の機会を捉え、生徒に成功体験を実感させる。
- ・生徒一人ひとりに役割を持たせ、実践させ、達成感・成就感を味わわせる。
- ・生徒が主体的に活動できるよう、きめ細やかな指導、支援を行う
- ・機会を見つけて、賞賛と激励を与える。

②「人間関係の構築」を図る

- ・絆づくりの構築
- ・信頼関係の構築
- ・規範意識の高まり

③家庭学習に取り組む生徒の育成（学習の習慣化）

5 重点目標達成のための具体的な取り組み

(1) 生徒の社会性を育成し「絆づくりの構築」を図る

取組① → 「いじめゼロへの対応」 → いじめをしない、させない、許さない 生徒の育成

手立て → ア いじめの早期発見・早期対応

イ ほめて、認めて（納得させて）気づかせる指導

ウ 生徒に寄り添う（生徒の悩みや相談に親身に対応する）指導の実践

エ ダメなものはダメという毅然な態度での指導

オ 「まさか」ではなく「もしも」の対応

取組② → 「ワンストップ挨拶の徹底」 → 明るく元気で大きな挨拶ができる生徒の育成

手立て → ア 朝の挨拶運動へのアプローチ

イ 生徒会活動からの挨拶の発信

ウ 部活動からの挨拶の発信

エ 職員の率先垂範

オ 職員同士での挨拶実践

カ あはは運動の推進

(2) 自立のための「生徒の確かな学力」の定着を図る

取組① → 学習規律の徹底 と 基礎基本の定着

- 手だて → ア 「朝自習」の実践
イ 「授業の約束5か条」の定着
ウ 「めあて」と「まとめ」の提示
エ 「クロムブック」を活用した授業実践
オ 「家庭学習習慣」の定着
カ 対話を重視した協働的学びの実施

取組② → 規範意識の向上

- 手立て → ア 時間を守る行動
イ 決まりを守る行動
ウ 整理整頓
エ 相手の置かれている状況や立場を考えた言動

取組③ → 「校内研修」による授業改善と教師の資質向上

- 手立て → ア 校内組織の設定
イ 目標及び手立ての設定
ウ 校内研究推進委員会の定期的な実施
エ 学力向上カレンダーの作成と校内授業計画と実施
オ 職員研修の充実

(3) 教育の効果を高める 働きやすい職場環境づくり 働きがいのある職場づくり

取組① → 同僚性（チーム大浦中）の構築

- 手立て → ア お互いに協力する
イ 子どもを話題に話し合い、学びあう
ウ お互いに思いやる